THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)
国際会長主題：“Our Future Begins Today ”「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題：“Respect Y’s Movement”「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題：ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を
中西部部長主題：世界をみつめ、地域とあゆむ
クラブ会長主題：－響き合う心と心－　さらに

Monthly Bulletin
第234号
2016年7月

聖書のことば
神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。　（コリントへの信徒への手紙二　１章４節）
選者　大橋　昌美

７月第１例会プログラム

日時：2016年7月13日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　藤井　弥生

1. 開会点鐘　鳥居　翠会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　大橋　昌美
4. ゲスト・ビジター紹介　鳥居　翠会長
5. 中西部部長公式訪問　西野陽一部長
6. 会長交替式　司式　西野陽一中西部部長
7. 連絡・報告・ニュース
8. 食線感謝＆食事
9. 卓話 ***「キリスト教の暦」***　杉浦眞喜子
10. お誕生祝い.
11. ニコニコ献金　ドライバー
12. YMCAの歌
13. 閉会点鐘　杉浦眞喜子会長

例会当番（A）　受付当番（D）

６　月　統　計		
第１例会出席者数	例会出席率	Ｂ Ｆ 統 計
メンバー　16名 ビジター　２名 ゲスト　４名 コメット　１名 合　計　23名	出席者　16名 メイキャップ　１名 合　計　17名 在籍者　19名 出席率　89.5%	日本　361ｇ　累計　1891ｇ 外国　15ｇ　累計　95ｇ 現金　円　累計　円 提供者：生雲、今井、国友、桑原、吉田、渡辺

新会長抱負

会長　杉浦　眞喜子

「― 響き合う心と心 ―　さらに」

「同じ人が複数回会長をやるようになったら、そのクラブはお終い！」これは、私が常々思っていたことです。

なのに、とうとう私が会長２回目をすることになってしまった！　しかもちょうどチャーター20 周年の年に……。覚悟を決めて、チャーターの頃の資料を繰ってみました。そこには、生き生きと、ワクワクしながら一生懸命そして少し背伸びしている私たちがいました。

「響き合う心と心」これは、チャーター時の会長標語です。クラブの仲間と、ワイズの仲間と、ミャンマーを初めとするアジアの女性たちと、心と心を響き合わせつつ歩んでいきたい……そんな思いが込められた標語でした。

20 周年を迎える今年、これを会長標語にしようと思いました。「― 響き合う心と心 ―　再び」としようとして、考えました。この 20 年、私たちは決してこの標語を忘れたわけではなかったし、不十分だったかもしれないが一生懸命実行しようとしてきたと。だから「再び」ではなく、「さらに」なのです。

この大事な節目の年に、初心を覚えつつ新たな歩みを始めたいと思います。

私たちはチャーター以来、「ミャンマー」をキーワードに「女性、子ども、障がいを持った方たち」と共に歩もうとしてきましたが、これからは「ミャンマー」に拘らず、もう少し広く周りを見廻してみたいと思います。多様性を受け入れ、様々な状況にある方達に心をよせることの出来る、そんな私たちでありたいですね。

手始めに今年は、武井美帆さんが通っていらっしゃる「アトリエゆうハウス」を少し応援したいと思っています。そして昨年度に引き続きセンテニアルクラブとの共催で「ファミリーコンサート」もしたいと考えています。勿論、２月の 20 周年記念祝会開催が最優先事項です。

20 年目の今年、心と心を響き合わせながら、新しい第一歩踏み出しましょう！

６月例会報告

音楽の癒す力は凄い

大岸　弘子

６月８日（水）の例会は「音楽療法って」と題した卓話です。頌栄短期大学名誉教授、向陽病院で音楽療法とチャペルアワーを担当し活動されている阿部　恩さんをお迎えし、理解を深める時となりました。

「タリタ、クム」“どんなときにも立ち上がれ”と今月の聖書のことばに始まり、阿部先生作曲の幼児さんびか「ありがとう」を歌って先生へのサプライズとなりました。

音楽療法の最も旧い記述は旧約聖書（サムエル記の竪琴を奏でる）にあります。またアリストテレスの「詩学」にもあり、いずれも音楽を聴き観劇から人は安らぎを感じる浄化作用がありました。

1960 年代、米国精神科医は個人に適した音楽の出会いにより人は癒される〔同質の原理〕を説き、カウンセリング・マインドに通ずる、カウンセリングはクライアントと同じ“呻”を伝え相手に合わせるのが基本と提唱。

日本では国家資格は無く、必要とされたのは 2000 年頃、兵庫県療法士講座が開設され療法士が誕生した。現在、学会認定音楽療法士約 1800 人が活動している。「相談員訓練」「いのちの電話相談」「肢体不自由者施設」での事例経験から先生は熱く語られました。

また教会拝礼、聖書、讃美歌は同質の原理、同質の思いに満ちています。重荷を負ってくださるキリスト・イエスに気づきます。

音楽の持つ力は生理的・社会的働きがあり、計画的に活用して行われます。障がいのある子どもたちは自分を取り戻し、健康な人も日常の疲れを癒す多様性適用範囲は広いのです。本当に音楽の力は凄いと思いました。

療法の役割からは主役はクライアントであり“ためにではなく共に”を強調されました。

楽器を弾き楽しく歌う喜びを感じながら、今年もまたチャリティーコンサートでみなさまとご一緒に過ごしたいと願いつつ、素敵な例会でした。

大阪サウスクラブ 60 周年記念祝会に参加して

藤井　弥生

2016 年５月７日（土）国内外 165 名が参加、たかつガーデンで盛大に開かれました。

第１部は、大東会長の挨拶で、60 周年を迎えることが出来たのは諸先輩方、皆様の温かく力強い支援のたまものと深く感謝し、「チャレンジ精神」を持ち前進を続けて継続しますと話されました。

チャーターメンバー・永年会員（30 年以上）の方７名の紹介があり、感謝状が授与されました。大阪 YMCA 総主事、遠藤西日本区理事が祝辞を述べられ、60 周年記念事業として南 YMCA にテントを寄贈されました。

林阪和部部長の「ともに歩もう、前へ！！」「阪和部は一つ」で乾杯。美味しいお弁当をいただきました。

お食事の間に、私はお一人お一人に声をかけ「なかのしま 20 周年記念例会」にお越しいただくようにお願いしました。

アトラクションは松田淳一・淳子さんのヴァイオリンとピアノの演奏でとても魅力的で素敵でした。また演奏の途中で大阪サウスクラブの歩みを織り交ぜての演奏は予想外で、とても驚きました。

今なお余震が続く熊本の地から、岩本　悟次期西日本区理事もお祝いに駆けつけて来られました。韓国大邱アルファークラブの会長から献金が次期理事に捧げられ、また会場でも熊本震災支援募金が行われ、私たちも気持ちを込めて募金をし、サウスの大東会長から捧げられました。

みんなで「花は咲く」を歌いお開きになりました。大勢の方におめにかかり、元気をいただき楽しいひと時でした。

鳥居会長、６月第２例会を終えて「お疲れ様」の花束を貰い、“お役ごめん”とばかりにこの笑顔！！　まだ西日本区大会も７月例会もお役はありますよ。

東日本区大会に参加して

今井　利子

６月４日（土）６時の新幹線で発ち、名古屋で「中央線特急しなの１号」に乗り換え 10 時１分長野駅に着く。久し振りの東日本区大会、１年振りの DBC 交流会の１日が始まる。

若里市民文化ホールに着き、受付前で越智さん、藤江さんに会う。ユースの会に参加のお二人と別れ、メネットの集いに急ぐ。旧知の友の顔が見え挨拶を交わす。利根川メネット事業主任リードの１年でいいお働きをされ、次期相磯メネットに引き継がれた。

その後、ホールでセレモニーが始まる。藤江会長たちのバナーセレモニーで幕は落とされ、来賓祝辞、年次報告に続いて岩本次期理事の熊本地震の現状など、まだまだ復興には多くの支援が必要だと心が痛んだ。

長野クラブの福島玄証寺住職のお話や、郷土史研究会会員の「絵解き口演」があり「ワイズにひかれて善光寺」を実感。明日のエクスカーションでの善光寺参りが増えたとか！

私はずっと“たんぽぽクラブ”の皆さんと行を共にする。晩さん会も４名と松本クラブメンバーとテーブルに付く。大半が旧知の方で偶然の喜びだった。417 名の大盛会で、再会を喜びテーブルを回る。

５日（日）も表彰式、理事・役員引継ぎ式、他を滞りなく終える。たんぽぽクラブさんは全部の奉仕を達成し、メンバー出席率 100%で藤江会長は壇上で表彰され、とても嬉しかった。

参拝して導かれ、多くの人との絆を実感。心の満ち足りたいい旅、交流を頂き、皆様ありがとう、再会の日までお元気で。

なかのしまの 20 年

杉浦　眞喜子

1. チャーターまで

ブリテン第２号で私は、「センテニアルでエックステンションの話が出始めた頃、予想できなかったことがいくつかあります」と書いています。一つは「チャーターにこんなに時間がかかるとは」、二つ目は省略して、三つ目は「こんなステキな 25 人の仲間が出来るとは」でした。

センテニアルクラブでは 10 周年を終えた頃から、新クラブ設立を考え出していましたが、どうせするなら他のクラブとは違うクラブを、ということで、 IBC の香港ボヘニアクラブが女性のみのクラブであったことから、「女性のみのクラブ」をということになりました。

1994 年９月センテニアルクラブで「女性お誘い例会」、新クラブのメンバー候補の女性を誘ってくる例会を開き、そこに誘われたメンバーを中心に、10 月に第１回仮例会を持ち、10 名の女性メンバーが揃いました。

その中には、山地さん、戸田亜理子さんそしてもう一人とってもアクティヴな方 K さんがいらっしゃいました。山地さんは既に大阪 YMCA のミャンマーでの縫製指導プロジェクトに関わっていらっしゃり、私たちは、彼女の働きに大いに魅せられたものでした。K さんはお顔も広く、10 名のうちの４名は彼女が誘って下さった方々でした。でも彼女は、女性のみのクラブでの活動には興味を持たれたものの、ワイズという組織に疑問を持たれたようでした。

そこに阪神淡路大震災、ちょうど１月の仮例会から１週間後でした。私の友人で最初から仲間になってくださっていた O さんが自宅で家具の下敷きになって亡くなりました。それと同時に、迷っていらした K さんとその仲間４人が辞めてしまわれたのです。

震災後１回休んだだけで、３月には仮例会を再開しましたが、出席者は３名、振り出しに戻ってしまいました。それから１年以上、何人もの方がメンバー候補にあがりながら、なかなか入会には至らず、それでも毎回工夫を凝らした仮例会を続けました。しかし出席者は 10 名を超えることはなく、「ダメなのかな？」とふと思うこともありましたが、応援してくださるセンテニアルのメンバーに支えられ、少しずつ準備を続けていきました。

ところが、不思議なことに 1996 年５月頃から徐々にメンバーが増え始めました。メンバーがまたメンバー候補を誘ってくる、そんな好循環が働いて、気がついたら 20 名を超えるまでに。そして９月に設立総会を持つことが出来ました。

設立総会は、「中西部会」と「西クラブの 15 周年記念祝会」、３つの同時開催でした。何もわからないまま、周りの方々に祝福され、とにかく晴れがましく嬉しい時でしたが、同時に「いよいよチャーターだ！」という覚悟をみんなが持った時でもありました。そしてその後もメンバーは増え続け、25 名のステキな仲間と 1997 年２月チャーターナイトを迎えることとなりました。

第１回の仮例会から 28 ヶ月、ブリテン第１号で私は、「徐々に徐々に大きくなる手中の宝をいとおしみながら眺めるような、そんな楽しい期間」だったと述懐しています。

コメットに手を引かれて

武井　和子

アトリエゆうハウスへようこそ

2009 年、なかのしまクラブに入会して以来、私は娘の美帆と行動を共にしてきました。どの会合にも、彼女は生き生きと楽しそうに参加しています。

今期、なかのしまはアトリエゆうハウスの支援をすることになりました。感謝をもって振り返り、美帆がお世話になっている「アトリエゆうハウス」の出来事をご紹介したいと思います。

アトリエゆうハウス代表、中井聡子さんとの出会いは、美帆が進学した高校の先生と生徒としての出会いでした。学校は自力で通学できるのが条件の、神戸暁星学園（震災後廃校）という小さな学校でした。ユニークで心温まる教育です。美帆は小学校・中学校でのいじめが酷く、辛い日々を過ごしましたが、進学してからは休むことなく５年間、電車通学を楽しみました。

卒業後、大きく立派な作業所に行きましたが、人間関係がうまくいかず２年足らずで辞めました。こころのケアが必要だと痛感します。

1994 年クリスマスに洗礼を受けましたが、翌年の神戸淡路大震災で心を痛め、自宅に引きこもっていました。そんなある日、淀川キリスト教病院で偶然中井先生と再会しました。懐かしくお喋りをして、先生が作業所を作られたことを知り、思わず「美帆も行ってもいいですか？」と。それがアトリエゆうハウスとの出会いでした。

あれから 15 年、美帆の個性あふれる布でカバンや小物を作り、友人や教会のバザー、土佐堀カーニバル等で販売しました。わずかでもゆうハウスに貢献できればと頑張ってきました。

毎年７月のとさぼりサマーセミナーに、講師としてアトリエゆうハウススタッフが、さをり織教室を担当しています。勿論美帆もお手伝いに行きます、さをり織は好評で午前、午後の２回開講されます。

なかのしまクラブの皆さんにも、さをり織を経験していただきたいと思います。

では、今月から６回のコラムを楽しんでください。

６月第２例会報告抄

日時：2016 年６月 15 日（水）18：30～20：30
場所：大阪ＹＭＣＡ　504 号室
出席者：16 名

１：2016 年７月～2017 年６月期の予算案が武井会計から提出され、了承された。
２：20 周年記念例会予算案が吉岡記念事業会計担当から提出され、了承された。
３：東京たんぽぽＹサービスクラブ、台中エバーレインボークラブとのトライアングル構想があり、前向きに検討することになった。

ニコニコ献金　6月　19,030 円

〈ニコニコメッセージ〉―　6月例会　―

☆丁度興味あるお話の内容で、楽しみながら良い勉強をさせて頂きました！　（ゲスト：白井泰子）

☆今回も厚かましく出席させて頂きました。皆様との出逢いも大切にしたいと思います。　（ゲスト：瀬島恵子）

☆大変興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。　（ゲスト：田野法子）

☆はじめてなかのしまクラブの例会に出席させて頂きました。参考にさせて頂けることがたくさんありますので、これからももっと出席したいと思います。　（大阪センテニアルクラブ会長：何　早林）

☆いつもながら賑やかで明るい“なかのしま”。この賑やかさがパワーの素。ますますの発展を期待しています。　（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆西日本区事務所職員になって初めての西日本区大会なので、準備の要領がわからなくて、バタバタしている毎日です。　（生雲）

☆大好きな歌が療法になるとは、学問的なお話に嬉しくなりました。何事も最高に活かせられたら～。でもたのしい例会でした。たんぽぽクラブさんとの交流もよかったです。　（今井）

☆何をしたからこんなに早く一年が過ぎてしまったのでしょう。ゆっくりを心がけます！　（江見）

☆「げんこつやまのたぬきさん」の作曲家小森昭宏氏の亡くなられた記事を今日の新聞で知りました。この歌を息子たち（2～3歳頃）とよく替え歌にして遊んだことが想い出されました。　（大岸）

☆久しぶりにプログラム委員をすることに。あれこれあって、これまた久しぶりに不眠の気配。予算を目一杯使ってしまいそう。でもでも。知性と教養を高め（これ以上に？）ましょうよ、ね！　（国友）

☆今年は今までになくず～っと忙しく、頭の中が交錯して頭痛に悩まされている。そう言えばしばらく音楽を聴いていない！　CD をかけて音楽療法をしなければ。　（桑原）

☆今月 30 日、25 回目の結婚記念日です。それを覚えて、7月初め、函館への旅行を計画しています。ちょっと楽しみ！！　（杉浦）

☆会計報告書作成と、コラムの原稿を同時に手掛けて仕舞い、頭が変になりそう！　でもジャム作りは気分転換になり楽しい、すっかりはまりました。　（武井）

☆すぎうらさんのおうちでジャムをつくりました。（武井美帆）

☆あともう少しで、会長のお役が終わります。私自身よりも、周りのメンバーさんが一番ほっとされているのでは？（笑）　（鳥居）

☆阿部先生の「音楽療法について 」のお話、同質の原理とは難しい。こころを合わせなさい、同じ気持ちに合わせなさい、同じ気持ちになりなさいとおっしゃった。私、母の気持に合わせていない、母の気持になっていないと反省。こころを合わせるよう努力しよう。　（藤井）

☆てっぽう百合が、母の命日に美しく咲きました。カサブランカみたいに華やかではありませんが、真っ白の楚々とした百合です。母が大好きな花だったので植えたら毎年健気に咲いてくれます。　（藤好）

☆梅雨入りってこんなものでしょうか？　でも今日はいつものように落ち着いたいい例会でした。阿部先生のおはなしもわかりやすくておもしろかったです。　（保田）

☆久しぶりにひどい風邪をひいてしまいました。咳をすると、教会でもオフィスでも、あちこちから飛んでくるのは“アメ”。ポケットがたちまちアメでいっぱいになりました。いいなあ、大阪（関西）人気質って。　（山佐）

☆紫陽花が満開で今年の梅雨は雨が少ない。ジトジトした梅雨の温度は通り過ぎてもう初夏。今年夏は猛暑が予想がされているようだ！　（吉岡）

☆鳥居会長の例会最終日、阿部恩先生の心温まるお話でした。音楽の秘められたパワーを知り、長い時間触れている幸せを感じました。皆さま、鳥居期の「なかのしま」特に華やかで素敵だったと思いませんか。　（吉田）

☆よいお天気に恵まれての例会です。音楽のいやす力についてうかがいます。楽しみです。　（渡辺）

欠席者メッセージ

★6月の例会は欠席させていただきました。例会はいろいろなお話を伺うことができすばらしい学びの機会だと思っています。今回は欠席でその機会が少なくなったことが残念です……。　（大橋）

YMCA ニュース

★第 279 回 早天祈祷会

日　時：2016 年 7 月 15 日（金）7:30～8:30
証　し：光野　定義（みつの さだよし）さん
（一般財団法人大阪クリスチャンセンター理事）
場　所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

★とさぼりサマーセミナー2016

日　時：2016 年 7 月 24 日（日）10 時 30 分～15 時 30 分
場　所：大阪 YMCA 会館　4階・5階
内　容：大阪 YMCA クリスマス献金とご参加のみなさんの運営協力費によって「家族で楽しい街の学校」をテーマに色々な特技や専門知識をもって一般市民がボランティアで「先生」となり、家族で主体性をもって学び遊べるプログラムです。
※当日の運営ボランティアも募集しておりますのでご協力よろしくお願いします！

★発達障がい支援セミナーのご案内

日　時：2016 年 8 月 3 日（水）13：30～15：30
場　所：大阪 YMCA 会館　9 階　903 教室
テーマ：発達障がいの気づきから効果的な支援へ
～ナチュラルサポートを目指して～
講　師：小田浩伸先生（大阪大谷大学教育学部教授
学校心理士 SV・特別支援教育士 SV）
参加費：1,500 円（大阪 YMCA 関係者は無料になります。）
お問合せ：YMCA 総合教育センター
TEL06（6441）0988　FAX06（6443）7544

★第 36 回聴覚障がい青少年国際キャンプ（H.H.キャンプ）

期　間：2016 年 8 月 8 日（月）～8 月 13 日（土）<5 泊 6 日>
場　所：六甲山 YMCA　グローバルラーニングセンター
対　象：聴覚に障がいを持つ 16 歳～35 歳の方
定　員：30 名　（先着順、必要に応じて面談あり）
参加費：45,000 円
※まずは、大阪 YMCA　HH 国際キャンプ事務局までお問い合わせください。

編　集　後　記

なかのしまクラブ 10 周年記念例会の時に、20 周年は遥か先のことだと思っていたのですが、今期、その時がやってきました。月日の経つのは本当に早いものです。